
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2008年12月24日号

©2008年11月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年11月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内トウモロコシ生産量は史上最高を更新、市場供給は充足

2008年の中国のトウモロコシ生産量は、史上最高を更新する見込みである。トウモロコシは5年連続の豊作で、2008年は輸出が大幅に減少したことから、市場には十分な量が供給されている。

2 トウモロコシ輸出は大幅な減少が継続、輸入量は少ないものの、その増加は急速

2008年10月の中国のトウモロコシ輸出量は、前年同月比88.3%減の2.5万トンとなった。同じく輸入量は5,693トンで、同月比3.5倍増・前年同月比85.3%増となった。同年1～10月の累計輸出量は前年同期比96.0%減の19.1万トン、同じく累計輸入量は同66.2%増となった。

3 世界のトウモロコシ需給は依然として逼迫

国際穀物理事会（IGC）の最新予測によると、2008/09年度の世界のトウモロコシ生産量は、前年度比1.6%減の7.73億トンと見込まれている。消費量は同1.9%増の7.90億トンと予測され、生産量が需要量を満たさず、世界のトウモロコシ在庫量は同13.3%減の1.11億トンと、この5年間で最低水準になるものとみられている。在庫消費率は14.1%と

予測され、国連食糧農業機関（FAO）が安全水準としている17%を下回るものとみられている。

4 国内トウモロコシ価格は引き続き下落、最近2年間で初めて前年同月安

2008年11月の国内トウモロコシ価格はさらに下落した。吉林省、黒龍江省、内蒙古自治区のトウモロコシ高度加工向け買付価格（水分含有量14%標準）は、それぞれ1斤（約500グラム）当たり0.70元、0.69元、0.71元前後で、国家臨時備蓄価格に比べ0.05元前後安いだけでなく、前年同月期に比べ0.02～0.03元安くなった。11月上旬の卸売市場を見ると、国内生産地の平均卸売価格は1トン当たり1,572円で、前月比0.8%安・前年同月比2.4%高となった。同じく11月中旬は1,566円で、前月比0.4%安・前年同月比0.2%高、11月下旬は1,557円で、前月比1.7%安・前年同月比2.9%安となった。

5 トウモロコシの国際価格は引き続き下落、内外価格差が逆転

2008年11月のトウモロコシの国際価格は引き続き下落し、年内最低となったのみならず、2006年以降初めて前年同月安を記録した。米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり166ドル、前月比7.8%安・前年同月比2.9%安となった。史上最高となった6月に比べ、1トン当たり121ドル安、下げ幅は42%以上となった。シカゴにおけるトウモロコシの平均先物価格は1トン当たり152ドルで、前月比7.1%安・前年同月比1.8%高となった。

同月の米国におけるトウモロコシFOB価格を1トン当たり1,133元と換算すると、国内生産地の卸売価格に比べ同424元安かった。輸入トウモロコシの海上輸送費が引き続き下落したことを受け、広州黄埔港における輸入トウモロコシの通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）は、最近5年間で初めて東北のトウモロコシの国内港到着価格を下回った。同月の米国産トウモロコシの通関渡し価格は1トン当たり1,633円で、同期の国内港到着価格よりも同30元安かった。